

安全データシート (SDS)**1. 製品及び会社情報**

製品の名称 : ステンレス鋳鋼品及び炭素鋼鋳鋼品、低合金鋳鋼品
 会社名 : 岡崎特殊製鋼株式会社
 住所 : 大阪市鶴見区中茶屋1丁目5番40号
 担当部署 : 品質管理部
 連絡先 : 電話番号 06-6911-9351 FAX 番号 06-6911-9353
 緊急連絡先 : 同上

2. 危険有害性の要約**健康有害性**

有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	区分2B	眼への刺激性
呼吸器感受性	区分1	吸入するとアレルギー、ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれ
皮膚感受性	区分1	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
発がん性	区分2	発がんのおそれの疑い
生殖毒性	区分1B	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分1	呼吸器、腎臓、消化器系の障害
	区分2	(全身毒性)臓器の障害のおそれ
	区分3	(気道刺激性)気道への刺激のおそれ
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1	長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、神経系、臓器の障害

※ 危険有害性区分が「区分外」、「分類対象外」、「分類できない」ものを除く

環境有害性

有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報
水生環境有害性(長期間)	区分4	長期継続の影響によって水生生物に有害のおそれ

※ 危険有害性区分が「区分外」、「分類対象外」、「分類できない」ものを除く

GHS ラベル要素

注意喚起語 : 危険 警告

注意書き

(安全対策)

- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- ・ 粉塵/煙/ヒュームを吸入しないこと。
- ・ 取扱い後は手をよく洗うこと。
- ・ この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・ 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・ 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

- ・ 環境への放出を避けること。
- ・ 保護手袋/保護着/保護眼鏡を着用すること。
- ・ 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

(応急措置)

- ・ 気分が悪い時は医師の診断/手当てを受けること。
- ・ 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
- ・ 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
- ・ 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
- ・ 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
- ・ 汚染された衣服を脱ぎ、再利用する場合には洗濯をすること。

(廃棄)

- ・ 内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物の区分 : 混合物 (合金鋼)

化学物質等 (製品) の化学特性 : 合金鋼を形成し安定している。

主な成分及び含有量

名称	元素記号	濃度 (wt%)	アメリカ化学登録番号 CAS No.	労働安全衛生法 政令番号	PRTR法 政令番号
鉄	Fe	残量	7439-89-6	-	-
炭素	C	1.0未満	7440-44-0	-	-
ケイ素	Si	5.0以下	7440-21-3	-	-
マンガン	Mn	10以下	7439-96-5	550 (1.0%以上)	1種412
ニッケル	Ni	30以下	7440-02-0	418 (0.1%以上)	1種308
クロム	Cr	30以下	7440-47-3	142 (0.1%以上)	1種 87
モリブデン	Mo	10以下	7439-98-7	603 (1.0%以上)	1種453
銅	Cu	5.0以下	7440-50-8	379 (0.1%以上)	-
チタン	Ti	1.0未満	7440-32-6	-	-
ニオブ	Nb	1.0未満	7440-03-1	-	-
タングステン	W	1.0未満	7440-33-7	337 (1.0%以上)	-
バナジウム	V	1.0未満	7440-62-2	-	-
アルミニウム	Al	5.0以下	7429-90-5	-	-
コバルト	Co	1.0未満	7440-48-4	172 (0.1%以上)	1種132

注1 主な製品の成分濃度は上記濃度範囲内ですが、規格・仕様要求等により上記濃度範囲と異なる場合もあります。

詳細については製品の規格または材料検査成績書を確認してください。

注2 上記の主要成分以外にリン[P]、硫黄[S]、窒素[N]などの微量元素を含む。

4. 応急措置

鋳鋼の加工等により発生した粉塵/ヒュームを吸入した場合、また粉塵/ヒュームが皮膚に付着した場合は、下記に示す応急措置の後、必要に応じて医師の診断又は手当てを受けること。

(吸入した場合)

呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

(皮膚に付着した場合)

粉塵/ヒュームで汚染された衣服を脱ぎ、速やかに多量の水と石鹼で洗う。

(眼に入った場合)

水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続けること。

(飲み込んだ場合)

水でよく口の中を洗浄すること。

(その他)

鋳鋼品の切断面及び切削屑等で皮膚を傷つけた場合は、傷口の清潔を保つこと。アーク等により火傷した場合は、患部を冷やすこと。

5. 火災時の措置

鋳鋼は不燃性（固体）の状態であり、周辺の火災時にも消火器・水による消火を行っても問題ない。ただし、微粉は燃焼、爆発性を有する場合がある。

(消化剤) : 消化剤に制約はない。火災の状況に適した消化剤を使用すること。

(消火方法) : 消火方法は可能な限り風上から行うこと。

(消火を行う者の保護) : 適切な保護具を着用し、消火活動を行うこと。

6. 漏出時の措置

鋳鋼は固体であり、一般環境下では漏出することはないが、鋳鋼品の加工等により発生した粉塵/ヒュームは下記に示す措置を実施すること。

<人体に対する注意事項>

適切な保護具を使用して、粉塵/ヒュームの吸入や眼への侵入を防ぐこと。

<保護具及び緊急時措置>

箇条 8（ばく露防止及び保護措置）の保護具を参照のこと。

<環境に対する注意事項>

鋳鋼品の加工等により発生した粉塵類は速やかに回収すること。

<封じ込め及び浄化の方法及び機材>

鋳鋼品の加工等により発生した粉塵類は、適切な方法で回収した後、漏出を防止すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

<技術的対策>

鋳鋼品を溶接・溶断又は研磨・切削等の加工を行い粉塵/ヒューム等が発生する場合は、適切な保護具を着用すること。また粉塵/ヒュームが発生する箇所は、局所排気/全体換気を行うこと。

<安全取扱注意事項>

重量物の為、転倒、荷崩れ、落下等に注意すること。

鋳鋼品の切断端面及び切削屑等は「バリ」「カエリ」などにより皮膚を傷つける場合がある。

溶接、溶断等にもなうアークは火傷を起こす場合がある。

保管

<安全な保管条件>

不必要な水濡れ、酸、アルカリもしくはそれらを含んだ物質との接触を避けること。

高温多湿の環境を避けること。必要に応じて雨水浸透防止、錆防止のためのシート、カバー梱包等の措置を行うこと。

8. ばく露防止及び保護措置

鋳鋼は通常の状態では固体であるため、一般的な環境下では、ばく露防止及び保護措置に関する有用な情報はない。ただし、溶接・溶断又は研磨・切削等の加工の際は、ヒュームや粉塵等が発生するので、下記に示す設備対策及び保護措置を実施すること。

<許容濃度>

成分	CAS番号	日本産業衛生学会 許容濃度 (mg/m ³)	ACGIH ※1 TLV-TWA (mg/m ³)
マンガン[Mn]	7439-96-5	0.2	0.2
ニッケル[Ni]	7440-02-0	1	1.5
クロム[Cr]	7440-47-3	0.5	0.5
モリブデン[Mo] Inhalable fraction	7439-98-7	-	10
モリブデン[Mo] Respirable fraction	7439-98-7	-	3
銅[Cu] Dust and mists, as Cu	7440-50-8	-	1
銅[Cu] Fume	7440-50-8	-	0.2
コバルト[Co]	7440-48-4	0.05	0.02
タングステン[W]	7440-33-7	-	5

注1 NITE HP/化学物質総合情報提供システム(CHRIP)検索結果、及び厚生労働省 HP/GHS 対応モデルラベル・モデル SDS 情報による

注2 表中の“-”は、区分外又は分類できないことを意味する。

※1 American Conference of Governmental Industrial Hygienists :米国産業衛生専門家会議

<設備対策>

粉塵/ヒューム等が発生する場合、適切な換気対策を実施し、作業環境を確保すること。

(保護具)

粉塵/ヒューム等が発生する場合、適切な呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護衣、安全靴等を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 : 固体
臭い : 無臭又は金属臭
融点 : 1400°C以上
比重 : 7~9g/cm³
溶解度 : 水に不溶

10. 安定性及び反応性

<科学的安定性>

一般的な環境下では、安定しており反応性は少ない。ただし水や酸化性物質との接触により錆を生成することがある。

<危険有害反応可能性>

水や酸などの化学物質と接触すると、酸欠、有害なガス発生の原因となる可能性がある。

<避けるべき条件>

高温、混触危険物質との接触を避ける。

<混触危険物質>

酸化性物質など

<危険有害性のある分解生成物>

溶接・溶断などの加工時に発生するヒューム中に金属化合物が含まれる可能性がある。

11. 有害性情報

前述「2. 危険有害性の要約」を参照のこと。

12. 環境影響情報

前述「2. 危険有害性の要約」を参照のこと。

13. 廃棄上の注意

< 残余廃棄物 >

産業廃棄物に関する法律、都道府県又は市町村が定める関連条例の規則に従い、環境に配慮した方法で残余廃棄物を処分すること。

< 汚染容器及び包装 >

容器及び包装に汚染物質が付着している場合、残余廃棄物と同様に、産業廃棄物に関する法律、都道府県又は市町村が定める関連条例の規則に従い、環境に配慮した方法で残余廃棄物を処分すること。

14. 輸送上の注意

輸送に関する国際規制対象物質に該当しない。

15. 適用法令

- ・労働安全衛生法
- ・化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)

16. その他の情報

本安全データシートは JIS Z 7253:2012「GHS に基づく化学品の有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」に基づいて作成しており、用語の定義は、JIS に従っています。

本安全データシートは作成時点で入手出来る資料、情報に基づいて作成しておりますが、弊社が知見を有さない危険有害性がある可能性があり、記載データや評価について安全性を保証するものではありません。あくまで安全な取扱いを確保する為の参考資料として提供するものです。

取扱事業者の責任において、関連法令に従うと共に安全対策を実施のうえ、適切な取扱いをお願い致します。

以上